

四代中尾都山著

都山流尺八樂譜

本曲

本

枯

木 枯

(流祖中尾都山作曲) 大正十二年十一月作

ととが切り

《解説》

流祖は東京へ移住の後、芝、増上寺の周辺(芝公園)をこよなく愛されました。そして折にふれ散策の一刻を楽しみました。

大正十二年、関東一円を襲った大震災により、この辺一帯は一朝にして烏有に帰しました。その廃墟に立った時の流祖の胸中は空虚そのものであったと想像できます。

流祖は自作品についての作曲の経緯や解説を文章にすることが、ほとんどありませんでした。しかし「木枯」については、月刊誌「三曲」の大正十三年十一月号に流祖自身の文章が掲載されています。

この流祖の文章「自作『木枯』」の一部を引用します。

「大震災後の芝公園は私の心身を奪ったかと思はれる程、楽想を錬るにふさわしいものがありました。秋も余程更けておりました。(中略)

ふと板垣伯の銅像の高所に到った時、こみあげる感想はおのずから曲となって流れるが如く、その時、即興的に感じた気分そのものが即ちこの木枯という曲となって現れたのです。(中略)

秋も暮れ初冬の風もうそ寒い此の公園に、梢淋しい冬木立、それを吹く風に心を奪はれた私は立ちつくして、楽に意(こころ)はふるへました。(後略)」

(都山流百年史より)



平成十四年一月二五日 初版印刷
平成十八年五月三十日 第三版・発行

出版権所有 不許複製

著作者

四代 中 尾 都 山

発行者

財団法人 都山流尺八楽会出版部
京都市北区紫野北舟岡町一二

印刷所
す み ち ゆ う 印 刷 社

総発売元

株式会社 前川出版社
(鎌谷営業所)

大阪府中央区東心斎橋一〇一五
TEL(〇六六)二五一一六五〇三番
FAX(〇六六)二五一一七七三五番
振替口座 〇〇九〇九六二八二二番

Chords

Printed in Japan ©

No.0013-1

Kogarashi
(Tozan)

1-877-9CHORDS